

ぶくちよにだより

～宮川幼稚園 園だより～

教育評価 特集号

令和3年3月10日

芦屋市立宮川幼稚園

園長 山中 朱美

2月に保護者の皆様から回答をいただきました「教育評価」について、結果がまとまりましたのでご報告いたします。

【表の見方】

A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない
D：全くあてはまらない です。

上段の数字は回答をいただいた人数、下段の数字は割合を表示しています。

回収率は92.4パーセントです。

アンケート全体としては、AとBの回答が全体の96パーセントとをしめ、4つの項目ではAとBで100パーセントになるという、とてもよい評価をいただきました。感染症対策が教育活動に様々な制限をかけたにもかかわらず、このように評価をしてくださいました。これは保護者の皆様の多大なご協力があってこそその評価です。そして、この結果は「家庭教育が素晴らしいことの証だ」「家庭の支えあってこそその幼稚園教育」ということであることもお伝えします。家庭と幼稚園が、互いに理解し合い、支え合って進めていくことができたことに心より感謝いたします。しかし、CやDの評価をいただいていることからもあります。幼稚園教育全体としても、個別の対応としても、CやDの原因を探り、指導や配慮の足りなかったところを、教職員で話し合っています。

I 望ましい保育はできていますか

	A	B	C	D
① お子さんは幼稚園に喜んで通っていますか。	60 83%	12 16%	1 1%	0 0%
② お子さんは行事や遊びを通して成長していますか。	65 89%	8 11%	0 0%	0 0%
③ お子さんは挨拶や片付けなど基本的な生活習慣を身に付けていますか。	28 39%	42 57%	3 4%	0 0%
④ お子さんは友達とのかかわりを深めていますか。	51 70%	19 26%	3 4%	0 0%
⑤ お子さんは自分から行動する態度を身に付けていますか。	35 48%	33 46%	4 4%	1 2%
⑥ お子さんは様々な表現活動を楽しんでいますか。	61 84%	12 16%	0 0%	0 0%
⑦ お子さんは絵本に親しんでいますか。	44 60%	22 30%	7 10%	0 0%

おおむねよい評価をいただきました。保護者の方が、「あてはまらない」と思われたところは、もう一度見直していきます。

③挨拶や片づけは、幼稚園ではみんなばっちりです。今年度、登園時の正門では、教職員

は健康チェックカードを見なければならなくなりました。声はかけても、顔と顔を合わせてのあいさつができにくく、気になっていたところですが、保育室に入る時は、みんな元気に先生や友達とあいさつをしています。

- ④ 友達とのかかわりについて「ソーシャルディスタンス」「密を避ける」「マスクの着用」などが、子どもたちの成長に影響を及ぼすのではないかと心配しました。よい評価をいただきましたが、ソーシャルでもつながりあえるかかわり・遊びなどを、「今後も意識して教育を進めていかなければいけないポイントだ」と教職員で話し合っています。
- ⑦ 宮幼図書館の日には、絵本カードのコメントを書いてくださって、ありがとうございました。ご家庭での子どもさんとの会話を、思い描きながら読ませていただきました。

Ⅱ 幼稚園として望ましい環境づくりができていますか。

	A	B	C	D
⑧ 幼稚園は子どもたちが心地よく過ごせる環境ですか。	64 88%	8 11%	1 1%	0 0%
⑨ 幼稚園は子ども達の豊かな感性や気付きを育む環境ですか。	62 85%	10 15%	0 0%	0 0%

- ⑧ 心地よく過ごせるということは「安心で安全」な環境でなければなりません。こちらが「安心」と思った環境が、個別にはしんどい環境になってしまうことや、個別にしんどくなっていたことに気づけなかったりするということもありました。今は安心でも、今までには心配なこともおありだったことでしょう。心配なことがある時に、保護者の方がいつでもどんなことでもお話してくださるような、信頼される教職員でありたいと思います。
- ⑨ 幼稚園では子ども達からの「気付き」を大切にしています。職員は、「子どもたちに気付いてほしい環境を」様々に工夫する努力をしています。「気付き」は豊かな感性とともに⑤の自分から行動する態度にもつながります。今後の学習意欲の基礎になる「自分から＝主体的に」を特に大事にしています。時には「主体的に」が難しいこともあります。その時はスモールステップで、いろいろな角度からアプローチをして、時にはそっと背中を押すなどして、自分から1歩を踏み出せるように支えます。また、他の子どもと比べるのではなく、その子ども自身が前より一歩踏み出せたり、やる気になったりしていること（決してできるようになることだけでなく）に気づいて行けるような教職員であらねば・・・と思います。

Ⅲ 家庭や地域との連携について

	A	B	C	D
⑩ 行事等の参観を通して子どもの様子や幼稚園の取組が伝わってきますか。	45 62%	24 35%	3 4%	無回答1 0%
⑪ 園だより、クラスだより、担任の話で子どもたちの様子がわかりますか。	56 77%	16 22%	1 1%	0 0%
⑫ 保育参観の時期や内容は適切ですか。	36 50%	33 46%	2 2%	無回答2 2%

⑬ 幼稚園は家庭との連携を深めていますか。	48 66%	24 33%	1 1%	0 0%
⑭ 幼稚園は地域の人とのかかわりを深めていますか。	41 57%	29 41%	2 2%	0 0%

- ⑭ 参観の回数が減り、人数制限をお願いするなど、例年と比較すると、評価が下がって当然です。その中でも「できることをした」と評価をくださったことに感謝します。

Ⅳ 健康な体づくりについて

	A	B	C	D
⑮ お子さんは自分からすすんで体を動かして遊んでいますか。	52 72%	17 24%	3 4%	0 0%
⑯ お子さんは以前より体力や運動機能が向上しましたか。	52 72%	21 28%	0 0%	0 0%

宮川幼稚園は昨年度まで「運動遊び」を研究のテーマにしていたので、この質問がありました。研究テーマは「防災」に変わりましたが、運動遊び（体づくり）はすべての基礎になるととらえ、今年度も重点課題として取り組み、アンケートの設問にも残しました。

運動会までは、園庭の総合遊具や巧技台など、目で見ても魅力的な遊具や、竹馬や鉄棒などのチャレンジする運動用具を使って「思わず体を動かして遊びたくなくて」遊びます。そこで、「体を動かして遊ぶことを楽しく感じる」ようになり、「思い切り体を動かすこと」を積み重ね「体力」や「バランス」などの力を育てます。運動会後は、遊具や用具をあまり使わずに、「伝承遊び」や「鬼ごっこ」で遊びます。鬼ごっこは「体力」「瞬発力」「敏捷性」「平衡感覚」「空間認知力」「ルールの創造」「仲間意識」・・・などたくさんの学びがあり、さらに防災教育的にも「危機回避能力を身に付ける遊び」と言われています。公園などでも二人いればすぐに遊べます。おうちの方も是非とも子どもさんと一緒にやってみてください。先日の中央公園の芝生広場でのお別れ遠足では、ほとんどずっと鬼ごっこをしていたぐらい、楽しく遊べました。

お忙しいところ、アンケートの回答にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。自由記述につきましては別紙にまとめておりますので、ご覧ください。なお、自由記述につきましては、個人が特定される表現などを、一部修正しております。また、個別に対応いたしましたことについては、掲載してないものもあります。ご了解ください。

今年度は、誰もが今までに経験したことのない状況の中、保護者の皆様の多大なご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝いたします。また、このアンケートでいただいたたくさんのお言葉が、教職員の励みになり、明日への力になります。そして、ご指摘やご意見をいただくことで、よりよい教育を進めていくことができます。

残り少ない3学期、また来年度に向けても職員一同、力を合わせてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

